

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                         |            |            |
|---------|-------------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0792530016              |            |            |
| 法人名     | 株式会社 福祉介護計画             |            |            |
| 事業所名    | グループホーム猪苗代 1階           |            |            |
| 所在地     | 福島県耶麻郡猪苗代町大字蚕養字沼尻山甲2855 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成30年8月31日              | 評価結果市町村受理日 | 平成31年1月15日 |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑に囲まれており自然を満喫できる。</li> <li>・家庭的で、雰囲気が温かい。</li> <li>・親しみがある、なじみの物に囲まれて生活できるよう支援している。</li> <li>・看取り</li> </ul> |
|--|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/07/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/07/index.php</a> |
|----------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                             |  |  |
|-------|-----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | NPO法人福島県福祉サービス振興会           |  |  |
| 所在地   | 〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成30年10月17日                 |  |  |

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|   |
|---|
| <p>1. 日常生活や運営推進会議、家族会等で利用者や家族の意見や要望を聞き取り、一人ひとりのやりたいことや思いに対応し、落ち着いた生活できるよう支援している。運営推進会議では、利用者代表より事業所にやってほしい事や職員になかなか言えない事を話し合える場が欲しいという意見があり、入居者会議を定期的に設けた。また、職員からは職員会議で避難訓練の進め方や設備の改善等について積極的に意見が交わされ、運営に反映しサービスの向上に努めている。</p> <p>2. 自治会に加入し、地域の敬老会等各種行事に参加したり総会に出席し交流を図っている。また、近隣住民より利用者の自宅周辺の防犯情報があったり、運営推進会議で事業所周辺の環境整備について率直な意見をもらうなど、事業所への理解が深まってきている。園児の慰問やボランティアの方々も定期的に受け入れ、地域との交流を大切にしている。</p> |
|---|

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印   |
|----|--|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 玄関及び事務所等に提示して職員一同その理念を共有して実施している  | 事業所内に理念を掲示しており、職員は適時確認しながら、理念に沿った利用者が馴染みの地域で、いつまでも自分らしく生活出来るよう支援している。   |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域の清掃活動、温泉祭り等に積極的に参加している。保育所の子供達が豆まきをして、歌を歌ったり最後に握手してくれる  | 自治会に加入して、地域の清掃活動や温泉祭り等諸行事に参加したり、総会に出席し交流を図っている。また、事業所内諸行事の中で、園児の慰問やボランティアの方々を受け入れたり、季節に応じた名所地見学等を通して交流を図っている。 |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域の方々と一緒に奉仕作業を行ったりして地域の行事に参加している。町の高齢者作品展に出品して見学しています   |   |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている                        | 2ヶ月に一回開催し運営推進会議のメンバーから意見をいただきサービスの向上に努めている  | 会議は定期的に行われており、意見や助言を得ながら、サービスの質の向上に活かされている。利用者代表から話し合いの場を設けて欲しいとの要望があり、定期的に入居者会議を開催している。                      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 町の担当者と連絡を取りながら相談しサービスに生かしながら町の高齢者作品展等に参加しています   | 町職員が運営推進会議に出席しており、事業所の運営状況等を報告し、意見や助言を頂いている。また、地域ネットワークに出席し情報交換を行ったり、日常的に生活保護や介護保険制度等について、相談しながら協力関係を築いている。   |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日中は鍵をかけないケアをしているが時間帯によっては鍵をかけることがある。部屋のドアに鈴などつけて廊下に出てきたらすぐ対応できるようにしています。身体拘束の禁止については職員一人一人が心掛けている | 事業所方針を全職員が共有し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、日中の玄関施錠は行わず見守りで対応している。また、身体拘束等の適正化を図るための取り組みを進めている。                       |                   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|---|---|---|-------------------|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている     | 職員全体会議での内部研修を行い虐待防止に努めている。入浴時等には皮膚の観察を虐待が見過ごされないよう努めている。          |   |                   |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 職員全体が理解しているとは言えず支援体制が十分だとは言えないため、今後は勉強会などを設けたい                    |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 家族や利用者様に十分な時間を取り、不安や疑問点を尋ね質問し、理解納得していただいている                       |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                  | 利用者様の日ごろの意見を吸い上げ家族に伝えること。又家族様が面会時に施設に対する要望等が気軽に言えること等を運営に反映させている。 | 利用者からは日常会話の中から、家族等からは面会時や家族会等を利用して、意見・要望を聞き事業所の運営に反映させている。運営推進会議の中で利用者代表からの要望により、入居者会議を定期的開催している。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                   | 全体会議時に職員の意見や要望を聞き運営に反映させている。                                      | 毎月開催している職員会議の中で、避難誘導のあり方、設備の改善、諸行事のあり方等、多くの意見が出されている。また、管理者は日常業務の中でも意見等を聞き、事業運営に反映させている。          |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている   | 職員一人一人の状況を把握し各自がやりがいがあり向上心を持って勤務できるように職場環境の整備に努めている               |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている      | 職員一人一人の状況に応じた研修会等に参加し全体会議で伝達研修を行っている                              |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 14                         |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 関連企業のグループホームとの意見交換やグループホーム協議会の研修会等に参加しサービスの向上に努めている                       |   |                   |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | ご家族の意向や本人の思いをよく聞き安心してサービスの利用ができるように信頼関係作りに努めている                           |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | ご家族と十分に話し合い、連携を取りながら関係作りに努めている  |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 入居者様の最優先にしなければならないことを把握し可能な限り本人と家族の思いに柔軟に対応するよう努めている                      |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | 本人の嬉しいこと、悲しいこと、辛いことを共感しながら支えあう関係作りに努めている                                  |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 家族会、誕生日会等の機会や面会時などによく話を聞き家族の思いを受け止めながら入居者様を支援するよう努めている                    |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 外出先でなじみのの人に会ったときは会話したり電話でのやり取りなどで途切れないように支援している。町の敬老会に参加して、馴染みの人と会話をしています | 地域の行事に参加したり、買い物等外出の機会を通して、地域の方々や場所との関係が途切れないよう支援している。また、家族の協力を得ながら、自宅周辺へのドライブや墓参り、親戚宅訪問等の支援をしている。 |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                   | 入居者様同士の間にはスタッフが入りお互いの入居者様の会話を盛り上げている                       |  |                   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所後いつでも連絡いただけるように相談に乗り関係を大切にしている                           |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の生活の中で行動や会話からの意向を聞き新聞を読まれる、歌を歌う、塗り絵などそれぞれ得意なことをしていただいている | 日々の関わりの中で利用者の思いや希望を把握し記録している。困難な利用者には、表情等から思いや意向を汲み取っている。また、センター方式を活用し情報を共有して、本人本意に検討している。                             |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居時や面会時に家族からこれまでの生活歴を聞きケアに反映している                           |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | ケース記録、介護日誌、申し送り等により日々の変化を把握するように努めている                      |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定期的にモニタリングし、担当者会議で各関係者と話し合い、意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 個別記録や担当者の意見を基にモニタリングを行い、その結果を基にカンファレンスを実施し、利用者や家族の思いや意向に反映した介護計画を作成している。また、利用者の身体状態に変化が生じた時は、モニタリングに基づいた介護計画の見直しをしている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子やケアの実践等は必ず記録しスタッフ間での情報共有に努めている                        |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | その時のニーズに対応し柔軟な支援やサービスの提供に努めている                       |   |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ボランティアの支援や保育園時により、豆まき行事に参加していただいている等、地域の人々に協力いただいている |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 2週間に一度(火曜日)の定期的な往診体制が整っている                           | 本人及び家族の希望に応じて、かかりつけ医の継続や訪問診療を取り入れている。訪問診療時は、事前に直近の生活及び身体状況を医師に情報伝達し、受診後診療記録に記載し、職員間で情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。また、家族に対して受診結果についての情報を提供している。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 1週間に一度(土曜日)の定期的な訪問介護により入居者様は適切な受診と健康管理が受けられている       |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 家族や病院関係者と情報を交換して状況を把握し入退院の受け入れ態勢を整えている               |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化した場合や終末期に対して家族や医師と話し合い、方針を共有化している                 | 入居契約時に本人と家族に対し、重度化した場合や終末期におけるケア対応の指針を説明し、事業所に対応可能な内容について理解を得ている。看取りにあたっては、家族や医師と話し合い、方針を共有し、連携を図りながら支援に努めている。                              |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | スタッフは応急手当や初期対応の講習を受ける等して実践力を身に付けている                  |   |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----------------------------------|------|---|---|--|--|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 35                               | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている              | 定期的に通報訓練、避難訓練、消火訓練を全職員が身に着け、地域との協力体制を整えています                       | 消防署や地域住民の協力を得ながら、総合防災訓練を年1回実施し、運営推進会議では消防団の方から意見を頂いている。総合防災訓練月を除き、毎月火災を想定した避難訓練を実施しているが、地震等を想定した訓練は実施していない。災害時に備え、飲料水や食料の備蓄を行っている。 | 防災マニュアルを整備するとともに、職員全員が、避難誘導できるように火災や地震、風水害、土砂災害等を夜間想定も合わせた訓練を数多く実施して欲しい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                      | 入居者様の人格を尊重しプライドを損ねない言葉かけや対応をしている                                  | 接遇に関する外部研修を受講し、事業所内の伝達研修を通じて、接遇スキルの向上を図り、職員が互いに注意しあいながら、利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーに配慮した支援に努めている。特にトイレでの失敗時には、居室に誘導しプライドを損ねないよう配慮している。  |  |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                        | 本人の思いや希望を日々の生活の中から把握し本人が納得できるまで説明などを行っている                         |  |  |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している    | 一人一人のペースに合わせて寄り添った介護をし、その中から希望を聞いたり読み取ったりしてその人らしい暮らしができるように支援している |  |  |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                     | 一人一人に合ったその人らしいおしゃれができるように支援している                                   |  |  |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている | 食事の準備、後片付けなど手伝っていただいています。野菜の皮むき、下ごしらえなど手伝っていただいています。              | 利用者の意向や、季節行事、利用者の誕生日等を考慮しながら、日々の献立を作成している。調理の際は、利用者にごしらえを手伝ってもらい、一緒に食卓を囲みながら食事を楽しんでいる。   |  |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている             | 入居者様に合った食事量、水分量の提供をしています。飲み込みが悪い方には刻み食やトロミをつけて提供しています             |  |  |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | 一人一人の状態に合わせて食後は必ず歯磨きをし、異常の状態発見時は歯科受診を行っています                                    |   |                   |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | 排泄チェック表を生かし一人一人の排泄パターンを把握し自立に向けた支援をしています                                       | 利用者一人ひとりの排泄状況を確認しながら、利用者の排泄パターンを把握し、尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導することで、トイレで排泄出来るよう支援している。  |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | 便秘予防には水分を多く、牛乳など摂る、運動量を増やす等個々に合った働きかけをしています。又便秘への対応としては医療との連携を図り、下剤を使用する時もあります |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 一人一人の希望に合わせて入浴できるよう支援に努めています。又いろいろな入浴剤を使用するなど、入浴を楽しんでいただいています。                 | 利用者の希望と体調を見ながら、週2回以上の入浴支援をしている。入浴を拒む利用者に対しては、タイミングを見計らい言葉掛けをする等、工夫している。また、会話や歌を歌ったり、ゆず湯等で季節感を感じてもらおう等、入浴を楽しむことが出来るよう支援している。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                   | 日中は本人の希望によって昼寝をいただいておりますが、昼夜逆転にならない程度にしています                                    |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている              | 誤薬がないように複数の職員で用量等のチェックを行い、症状の変化等の確認に努めています                                     |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 入居者様の状態に応じて、塗り絵、山菜の下ごしらえ、洗濯物たたみ等していただき意欲を引き出すようにしています                          |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している  | 天気が良い時は散歩に出かけドライブなどでも外出を楽しんでいます                                | 天気の良い日は事業所内の敷地を散歩する等日常的に外出支援をしている。事業所行事として、花見や紅葉狩り、外食する等戸外に出かけている。また、利用者の希望に合わせて、家族の協力を得ながら、ドライブや墓参り等の機会も作っている。 |                   |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭管理は施設で行い、本人の希望によりいつでも引き出せるようにしています                           |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している  | 本人の希望があればいつでも電話のやり取りができるよう支援しています                              |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 共同作品の季節の花を飾り居心地よく過ごせる共用空間作りに努めています                             | 日々の清掃や温度管理を適切に行っている。季節を感じさせる飾り付けを利用者と一緒に行う等、利用者が居心地良く過ごせるような空間作りを工夫している。  |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | テレビ、テーブル、ソファなど配置し、入居者同士がより良い関係を保てるように支援しています                   |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている | 馴染みの家財道具などを持参していただき、自宅にいた時と極力近い状態で生活できるように配慮しています              | 各々の居室には、記念写真や家具等馴染みの物を持ち込んでもらい、その人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。また、日々清掃、換気、温度管理を適切に行い、利用者が居心地良く過ごせるよう支援している。            |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 居室がわからない等の人には部屋の入口の文字を大きくするなど工夫し、食器も個々のものを持ち込んでいただきわかりやすくしています |   |                   |